

## 国立大学法人 金沢大学

### ◎ 事業所概要

企 業 名:国立大学法人 金沢大学  
代表者氏名:学長 山崎 光悦  
所 在 地:金沢市  
業 種:大学・研究施設等及び附属病院  
労働者数:3,921人

### ◎ 行動計画

- 1 計画期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日
- 2 内容
  - 目標1 男性職員の配偶者出産・育児に伴う特別休暇及び育児休業等の取得を促進する
  - 目標2 次世代育成支援に関する要望等の調査研究を計画・実施し、制度策定を検討する
  - 目標3 「多様な職員の多様な働き方」が職場内で理解される雰囲気醸成するための情報提供を充実する

### ◎ 目標達成の状況

- 目標1 休業・休暇等の制度を分かりやすくまとめ、ホームページによる周知・啓発を実施し、計画期間中に男性職員1人が育児休業を取得
- 目標2 平成24年度に男女共同参画及び両立支援対策に関するアンケートを実施するとともに、得られた結果を今後の支援策の策定に反映させるよう、男女共同参画推進委員会において検討
- 目標3 教職員が本学において利用可能な諸制度について紹介し、制度を利用しやすい職場づくりを目指し、平成22年度に「子育て支援ガイドブック」を作成の上、全職員へ配付するとともにホームページにも掲載し、周知啓発を実施

### ◎ その他の取組の状況

- ・ 所定外労働削減のための措置として、ノー残業デー、早期退勤デーを設定・実施
- ・ 年次有給休暇取得促進のための措置として、各部署で四半期ごとに年次有給休暇使用計画表を作成し、計画的利用を促進

## 大学からのひとこと

### ○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

行動計画の実施に当たっては、育児だけではなく全教職員のワークライフバランス(仕事と生活の調和)の推進に資するため、年次有給休暇の取得推進や所定外労働の削減について力を入れました。

また、仕事と生活の調和を図るための諸制度は整備されていますので、今後は、職員が性別に関わりなく、その個性や能力を発揮することができるよう、更なる職場の雰囲気づくり・意識啓発が必要であると考えています。

### ○ 育児休業を取得した男性職員の声(人間科学系准教授・44 歳)

4か月の育児休業を取得しました。育休を理由とした非常勤講師の申請ができない等の制度的な課題に加え、教授会等に参加できなくなるため組織改編等の意思決定に参加できない非制度的な問題にも直面しました。組織改編等による職場の不安定性と不透明性は、男性に限らず教職員の育休取得を難しくしていると感じています。

過去5年間で取得した男性教職員は私一人と伺っています。制度・運用面の改善とともに、ライフプランに見通しが持てる職場環境が構築されることで、次の5年間には、もっと多くの男性育休取得者が現れることを期待しています。